



令和5年1月4日

目黒区立菅刈保育園長

1月の園だより

新年あけましておめでとうございます。

年末年始を家族で過ごし、色々なことを経験されたのではないのでしょうか。休み明け子どもたちから聞かれる会話がとても楽しみです。楽しかった経験がこれからの園生活を豊かにしてくれると思います。

1歳児クラスと散歩に行きました。玄関では靴が履けた子から椅子に座ります。後から来た子に「ここいいよ」と譲ってくれた子がいました。友達は嬉しそうにそこに座り「ありがとう〇〇くん」と言うと、言われた子は、はにかみながら「ぼくはバットマンだからね」と言って2人で微笑みあっていました。園を出発し西郷山のスロープを登る際、個々の歩くペースは違います。どんどん早く行く子や「葉っぱ」「保育園見えた」と止まって手にしたり、手を振ったりする子と様々で間があいてしまいます。すると、前に行った子は「おーい」と迎えに行き、自然と手をつないで一緒に坂道を登っていきました。斜面を歩くという経験は足腰を強くするだけでなく、「あそこまで行きたい」と見通しがもてるようになり自分の意思で行動している事が実感できます。一人ひとりの歩調に合わせた保育を大切にしていきたいと思います。広場ではもみじや木の実、枯葉を集め「トマト」「ブロッコリー」と言っては個々に料理作りが始まります。それぞれがバラバラに作っていても「何作ってるの」と聞くと口を揃えて「納豆ごはん」と同じ物を作っているのには驚きました。友達存在に気づき自らかかわろうとしたり、一緒に過ごすことを喜んだりする姿が増えてきていることを実感しました。子どもの興味・関心に応じた環境を準備することで主体的にそれらに関わろうとする意欲を育てていきます。菅刈保育園ならではの自然を感じ、友達と過ごす喜びを感じられるよう保育していきたいと思います。今年もよろしくお願ひいたします。

<1月の行事予定>

新年子ども会
身体計測 (0・1・2歳児クラス)
身体計測 (3・4・5歳児クラス)
5歳児クラス懇談会
3歳児クラス懇談会

<2月の懇談会>

0歳児クラス懇談会
2歳児クラス懇談会
1歳児クラス懇談会
4歳児クラス懇談会

～子どものつぶやき～

子どもたちは日々発見や感動を言葉にしてつぶやいています。日頃の保育の中で保育士がキャッチできたかわいいつぶやきをご紹介します。

3歳児クラスにて ～図鑑を見ながら～

A:「夜行性って知ってる?夜に動く動物だって」
保:「Aちゃんは、この前寝るの遅くなったって言ってたから夜行性かな」
A:「ううん、ちがうよ、お風呂入ったら寝るもん。でもママは私が寝た後まだ起きてるから夜行性だよ」

1歳児クラスにて

～幼児クラスの劇を観て～
「ひらけーゴマ」「ひらけーママ」
「ひらけーパパ」

*『ゴマ』『ママ』『パパ』の言葉の響きを楽しんでいます。

4歳児クラスにて ～おうちごっこをしている時～

A:「昨日ね、おうちの私のおもちゃでパパが遊んでるのを見たの、パパも大人だけど使いたかったんだと思ったよ」
B:「この前、うちの妹もぼくのいないところでおもちゃを使って遊んでいたときあったよ、赤ちゃんだから仕方ないんだけどね」
C:「みんな(大人も赤ちゃんも)おもちゃが大好きなんだね」
*きっと子どもが見ていないところでパパがおもちゃの片付けをしていたのでしょうか。

1・3・5歳児の子どもたちの好きな遊びの様子をご紹介します

『ブロックをつなげて』 1歳児クラス(すみれ組)



井型ブロックを長くつなげて床を滑らせ電車に見立てて遊んでいる子がいました。保育士が人形を動かして「乗せて」と伝えると「いいよ」と言い人形を受け取り、ブロックの電車に座らせています。

「もう1回」と言うので、同じやりとりを繰り返すうちたくさんの人形が電車に乗り、満足そうに出発させていました。その様子を見ていた別の子が電車の前に足を開いて立ち「トンネルです」と言いました。電車を走らせていた子はニコリし「ガタンゴトン」とトンネルに電車を通らせて友達と関わって遊ぶ姿も見られました。

子どもたちは組み立てることを楽しみながらいろいろなものに見立てて遊ぶことが大好きです。子どもたちのイメージしていることを汲み取り、遊びが広がるようにしていきたいと思います。



『かっぱがすんでいるのかも』 3歳児クラス(いす組)

子どもたちは園庭で遊ぶのが大好きです。ある日の砂場、前日の雨水が溜まっていると、遠巻きに見ていた子どもたちが「うみみたい」「もしかしたら、かっぱがすんでいるかも」と想像を膨らませて、わくわくした楽しい気持ちになっているのが見て取れます。「かっぱにごはんをあげようよ」と言い出した子がいました。「なにあげる」と子どもたちで相談が始まります。相談の結果、魚の形の砂場玩具をあげることになりました。「ほら、たべていいよ」と次々に水の中に投げ込みます。波紋で水面が動くたびに「あ、うごいた」「たべにきてる」と大盛り上がりです。水面に浮かぶ魚を見て、今度は「どうやってとろうか」と子どもたちの作戦会議は続いていきました。



子どもたちは他の子の思いや意見を取り入れて、イメージをどんどん膨らませています。友達と一緒に遊ぶと遊びが広がっていく楽しさを感じていけるようにしていきます。

『きいん組ワールドカップ』 5歳児クラス(きいん組)



サッカーのワールドカップが開催されたことで影響を受け、サッカー熱がとても高まっています。「サッカーやろう」と一人の子が言うと「やりたい」と15、6人が集まってきます。2チームに分かれると「クロアチアがいい」「ブラジルも強いよ」と国を決めています。互いにチームが決まると「今日はフランス対クロアチアだ」「頑張るぞ」「負けないぞ」とやる気いっぱいです。自分たちでルールを確認しあったり仲間同士で「僕はここを守るからそっちはよろしく」と役割分担する姿もあります。時には、「線から出てたよ」「出てなかった」と言い合うこともありますが、周りの仲間が「確かに今のは線から出てたかも」と教えてくれると涙しながらも「そうか」と納得できる姿も増えてきました。ボールを蹴る表情は真剣そのもので、ゴールが決まると「やったー」と飛び上がって仲間とともに大喜びしています。負けてしまったチームも「次は頑張るぞ、一点取ろう」と気持ちを奮い立たせ、また次に気持ちが向かっています。

試行錯誤しながら大好きな遊びを仲間と納得いくまで楽しんでいる子どもたちです。

